

梅香る通信

発行日：平成23年4月22日

No. 2

新富町立新田中学校

文責：校長 緒方宗雄

『今だからこそ・・・』

人には、全力で臨まなければならない時がある。そして、自分の持つ力を発揮したいと思う事がある。

しかし、全力を出すことは簡単ではない。そもそも、自分の全力がどれくらいなのか、その限界を把握している人は少ないだろうし、また、それは変化するものでもあるから・・・。

特に中学生の時期は、身体も脳も大きく成長するため、この時期に運動・スポーツにどう取り組むか、また学習や読書などで脳をどう活性化させるかは、その人の生涯の体力や考える力に大きな影響を与えるのは明らかである。

だからこそ、今やらなければならないのだ。体育や部活動などで、自分の体を鍛え、体力や技能を高めたい。授業で学び、宅習で力を付けていかなければならない。

自分の中にいろいろな力を蓄えていく今を大切に生きたい。

伸びよ 若竹のごとく！！

“歯を大切に”

歯科検診が行われました。あなたの歯は健康でしたか？昨年の同時期に行われた結果、52人が治療が必要と診断されましたが、昨年度の内に治療が済んだ人は、59.6%でした。歯は、痛くならないと歯科医を訪れようとしらない人が多いようですが、痛くならないうちに早めに治療することが大切です。

体にエネルギーを補給する入り口となり、その咀嚼そしゃくの機能を持つ歯、食後には歯を磨く習慣を付けるとともに、悪くなったら早期に治療をしましょう。

歯の治療率100%を目指そう。

【読みたい！】

私は、若い頃あまり本を身近に置いていなかった。本を読んでいると、すぐ眠たくなるタイプだった。文字をなぞって読み進めよう、読み終わろうと、読んだことに満足していた。だから、その本の良さは分かっていなかったように記憶する。夏休みの宿題としての一冊のように、ある面仕方なく読んでいた自分が居た。

しかし、ある時期から全く変わった。それは、本との出会いだらう。「読みたい」のだ、「おもしろい」のだ。読んでいるとワクワクするような、ジーンと胸に染みるような、そして涙で文字が見えなくなるような、そんな本がある。

それまでは、文字を目で読んでいたようである。今は、本の中にある心を自分の心で読んでいるようにも感じる。

本は労苦で読むものではないのだろう。自分の心の琴線に触れる本に出会うことが大切だと思う。しかし、数え切れない程の本の中から、それを選ぶことは至難の業だ。

であれば、とりあえず他の人が読んで「面白い、良かった」と感想のある本を読んだらどうだろう。そんな本が図書室にはたくさんある。

あなたの心に届く本がきっとある。身近に図書室を利用し、本を借りたい。そして、読もう。

【ファミリー読書の日・・・毎月23日】

